



三重県の国際貢献 お知らせ

三重県では、今後約10年先の三重県がめざすべき姿を「県民しあわせプラン」の中間案としてまとめ、さきほど中間案を発表したところです。そして、来年度から3カ年重点的に取り組む施策の3つの柱となる「みえの絆づくり」プログラムのひとつとして、「国際貢献・外国人との共生社会推進プログラム」をあげています。

このうち国際貢献に関しては、県民のみなさんの幸せはもちろん、世界に目を向けて、私たちのできることをしよう、そして、人間の幅を広げ、充実感ややりがいを感じながら、世界と絆をつくるのが大切ではないかという考えのもと、県としてはそうしたきっかけづくりをしたいと考えています。

言うまでもなく、世界の国々と共存関係にある日本では、私たち一人ひとりが国際社会の一員、地球市民のひとりとして考え、そして、同じ目線に立って、背伸びをせずに、私たちができることをできる範囲で国際貢献を行うというのが必要かと思えます。

食べ物や資源を大切にすること、各種募金、フェアトレード品の購入、衣料品の送付、海外で行う教育、環境、農業支援など、国際貢献のやり方は実に多種多様です。

三重県では、より多くの県民の方が国際貢献に目を向け、そして考えるきっかけづくりとなるプログラムがこれから具体的に決まれば、みなさんにどんどんご紹介していこうと思っています。ぜひ一緒に考え、行動しましょう。

●問い合わせ先/生活部国際チーム Tel.59-222-5974 Fax.059-222-5984 E-mail kokusai@pref.mie.jp ホームページ www.pref.mie.jp/kokusai/hp

【特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は3団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPOチーム及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体 (1)名称 (2)代表者氏名 (3)法人事務所の所在地(平成15年12月13日~平成16年1月12日申請分)
(1)憩いの家たんぼ (2)池田清貴 (3)名賀郡青山町阿保802番地 / (1)みえきた市民活動センター (2)郷司房夫 (3)桑名市中央町1丁目8番地 / (1)市民ネットワークすずかのぶどう (2)井出輝門 (3)鈴鹿市白子駅前18番15号

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)(平成15年12月13日~平成16年1月12日届出分)
特定非営利活動法人 市民福祉ネットワークみえ(平成15年4月1日) / 特定非営利活動法人 三重県マンション管理組合連合会(平成15年12月2日) / 特定非営利活動法人 神社みなとまち再生グループ(平成15年11月26日) / 特定非営利活動法人 G&R(平成15年12月11日) / 特定非営利活動法人 あいの里(平成15年12月16日) / 特定非営利活動法人 明昇会(平成15年12月24日)

アストdeブ回デューサー 3 岡嶋多華夫

こんなにあるん?おもしろ地域活動 ~自分たちのまちは自分たちでつくろう!~参加団体募集中!

最近になって益々市民活動が注目を集めるようになり、必要性を感じる方々が増えてきました。趣味的な活動、環境保全活動、介護福祉活動、まちづくり活動などを行っている団体さん!ぜひブース出展&PRしてみませんか?当日の様子はビデオに残してセンターでくり返し放映していく予定です。

●とき/2月21・22日(土・日) ●ところ/みえ県民交流センター3階
申し込みはみえ市民活動ボランティアセンターTEL059-222-5995まで!

ボランティアコーディネーターってなんだ?? (8) 野村希代

ボランティアセンターの仕事の一つである研修会や講座の開催については、以前にも書きましたが、その目的や内容はさまざまです。新たなボランティアの参加を増やす、専門的な技術を身につける、ステップアップするなどなど…。講師を招いて開催するだけでなく、ボランティアコーディネーター自身が講師を務めることもあります。特に地域に密着した内容の場合は、地域の実情を踏まえた上での話ができるため、その地域のコーディネーター自身が話をするほうがより参加者に伝わりやすいのです。

年に数回ですが、私もボランティアのこと、ボランティアセンターのことなどを話に出かけることがあります。人前で話すのが苦手な私。今でこそ、多少慣れてはきましたが、毎回不安と緊張が伴います。そして伝えようと思っていたことが伝えきれないこともあります。私が知っているコーディネーターの中には、話や講座の組み立てが上手な方がいるのですが、その方たちと話をしていると、もともと話が上手だからというだけではなく、普段からの情報収集や入念な準備、実施後の反省などに裏付けられたものだということがよくわかります。準備、実行、振り返り、そして次に生かす。その繰り返しが、コーディネーターをまた一歩成長させるのです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPOチームのホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動ニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバレス3階) / オールウェイズ(津センターバレス1階) / 津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央) / (有)デザインオフィス秋野(津市大谷町301-1) / 市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15) / 南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内) / 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2) / 鳥羽NPOネットワークセンター・館(鳥羽市鳥羽1-3-8) / 市民活動共同センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内) / 四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17) / 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19) / ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市小玉町304-5-1) / みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階) / 上野市中央公民館 / 上野市立図書館 / 上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀@LAN事務所 / 上野青年会議所 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇学館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター / エコリポート赤目の森(名張市上三谷268-1) / 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5) / 松阪大学(松阪市久保町1846)

【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13) / 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南) / 三重県民サービスセンター(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 寄宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県女性センター / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 各市町村役場

イベントスケジュール

男女共同参画フォーラム

～広げよう！世代をこえて あなたらしさの生きるまち～

- とき／2月6、7日(金、土)
- ところ／津リージョンプラザ
- 内容／さまざまなグループの活動発表や活動展示が行われます。託児は予約制、有料です。詳細は下記へ問い合わせください。【ワークショップ「津市のまちづくり…合併後と私たちの暮らし」】
- とき／2月6日(金) AM10:00～正午
- 主催・問い合わせ先／男女共同参画フォーラム実行委員会事務局 Tel.059-229-3103 ●主催／津市

心の問題を抱える家族とともに考える会「ラポール」第9回研修会『こころのバリアフリーを考える』

- とき／2月7日(土) AM10:00～正午
- ところ／三重県総合文化センターフレンテみえセミナー室B
- 資料代／300円(会員無料)
- 内容／自分の本当の気持ちに気づいていますか？本当の自分の気持ちを知らないと、こころが疲れ、相手の気持ちが見えなくなってしまう。ありのままの自分のこころ、覗いてみませんか？講師は県立こころの医療センターの臨床心理士、杉野健二さんです。
- ※2月6、7日、津リージョンプラザで行われる「男女共同参画フォーラム～広げよう！世代をこえて、あなたらしさの生きるまち～」にてラポールの活動展示を行います。
- 主催・問い合わせ先／津市南中央6-6 NPO法人ラポール Tel.&Fax.059-223-3456

第2回「がん患者とサポーターの集い」フォーラム

- とき／2月8日(日) 正午～PM4:00 ●参加費／無料
- ところ／アスト津4階アストホール(津市羽所町700)
- 内容／グループによるがん相談会のほか、関係補助用品の展示を行います。また、がん体験者である落語家の樋口強さんによる講演会、山中チヨさんのミニ音楽会も行います。
- 申込方法／電話、Fax、E-mailにて。
- 主催・申込・問い合わせ先／(財)三重県健康管理事業センター総務課 Tel.059-228-4502 Fax.059-223-1611 E-mail info@kenkomie.or.jp ホームページ <http://www.kenkomie.or.jp/supporters/>

子育てサロン「カフェまんなか」

- とき／2月9日(月) AM10:00～正午(月1回)
- ところ／四日市まんなか子ども劇場事務所
- 内容／幼児を持つお母さんが、子どもを抱えて孤独な子育てをしないですむように、ベテランお母さんと「ホッ」とできる場です。

大型紙芝居とアートバルーン

- とき／2月28日(土) AM10:30～AM11:30
- ところ／四日市まんなか子ども劇場事務所
- 参加費／親子300円、子どものみ(小学生以上)200円
- 内容／毎回好評を得ている大型紙芝居と遊びの会です。
- 申込方法／いずれも要申込(先着順)。早めにお問い合わせを。
- 申込・問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場(開局日火～土曜 AM10:00～PM5:00) Tel.&Fax.0593-51-6670 E-mail mannaka@m4.ctv-net.ne.jp

男女共同参画～地域ネットワーク講座のご案内～

- いずれも受講料は無料。興味のある方はどなたでも参加できます。【人権から学ぶ地域のネットワーク-DV相談から-】
- とき／2月10日(火) PM1:30～PM3:30
- ところ／川越町あいあいセンター4階会議室
- 内容／講師は埼玉県男女共同参画推進センター相談員の西川けいこさん。
- 【防災から学ぶ地域のネットワーク】
- とき／2月18日(水) PM1:30～PM3:30

- ところ／菟野町役場4階会議室
- 内容／講師は(有)コロバねっと代表取締役の石井布紀子さん。【高齢社会から学ぶ地域のネットワーク】
- とき／3月4日(木) PM1:30～PM3:30
- ところ／菟野町役場4階会議室
- 内容／講師は日本向老学会事務局の高橋ますみさんです。
- 申込・問い合わせ先／川越町企画情報課(担当:加藤) Tel.0593-66-7112 菟野町秘書広報課(担当:伊藤) Tel.0593-91-1105 三重県北勢県民局生活環境部(担当:山脇) Tel.0593-52-0762
- 主催／四日市市生活創造圏男女共同参画まちづくりリーディング委員会

みんなで考える"みえ"の監査

～監査フォーラムinみえ2004～

- とき／2月10日(火) PM1:00～PM4:50 ●参加費／無料
- ところ／三重県総合文化センター(三重県生涯学習センター)4階大研修室(津市一身田上津部田1234 Tel.059-233-1111)
- 内容／三重県では、平成14年度から全国に先駆け、評価方式による行政監査に取り組み、総合計画「三重のくにつくり宣言」の施策等を対象に、7つの評価項目について5段階の評価を行っています。また、監査結果については、レーダーチャートで表示したり、概要版を作成するなど、県民の皆さんに分かりやすく情報提供しています。フォーラムでは、平成15年度の監査結果を報告するとともに、期待される監査とは何かを皆さんとじっくり考えたいと思います。なお当日は前会見検査院長、慶應義塾大学名誉教授の金子晃さんの講演を行うほか、「住民のための監査～地方から変えていこう！チェックの仕組み」と題したパネルディスカッションを行います。
- 募集人数／100人
- 申込・問い合わせ先／三重県監査委員事務局(担当:伊藤(久)、山岡) Tel.059-224-2924 E-mail kansai@pref.mie.jp

～みんなでわいわい なかまづくり 夢づくり～

伊賀の国 市民活動交流会

- とき／2月11日(祝・水) PM1:30～
- ところ／名張市青少年センター・名張市中央公民館(名張市松崎町1325番地の1)
- 参加費／交流会に参加の場合500円
- 内容／各地でさまざまな活動をしている皆さん、お互いに情報交換し、仲間づくりをし、これからの活動にむけエネルギーの充電をしましょう。ウベ＝フルタさん、南部美智代さん、阿部圭宏さんのリレー講演をはじめ、仲間づくり、お金づくり、仕組みづくりの3分科会に分かれ座談会、軽食パーティー式の交流会を予定しています。
- 申込・問い合わせ先／名張市中央公民館(担当:上田) Tel.0595-64-2605 E-mail seeba55@e-net.or.jp
- 主催／伊賀の国市民活動交流会実行委員会
- 主監／伊賀フォーラム2010

◆◆◆◆◆ あなたが踏みだす 未来(あす)への一歩 NGO列島縦断フォーラム・近畿ブロックin三重

- とき／2月14日(土) 受付AM10:00～AM10:30～PM6:30
- ところ／アスト津(津市羽所町700)
- 参加費／一般1000円、学生500円(交流会参加費を含む。中学生以下は無料)
- 内容／この企画は、NGOによる国際協力の意義と役割の重要性を広く皆さんに知っていただくために開催し、NPO・NGOのネットワークづくりも目指しています。当日は速水林業社長、速水亨さんの講演のほか、「農林業の民間国際協力」「アクション!やってみようよ国際協力」「自然と親しむ」「多文化の人々と生きる」「若い力で国際協力」の5つに分かれ、分科会を行います。詳細は問い合わせを。
- 応募締切／2月4日(水) 消印有効
- 申込方法／氏名、連絡先、住所、希望分科会(第2希望まで)、所属、年代を明記し、E-mail、Faxにて。参加費は当日受付で支払いを。
- 申込・問い合わせ先／514-0009 津市羽所町700アスト津3階(財)三重県国際交流財団内 NGO列島縦断フォーラム近畿ブロック実行委員会(担当:宇藤、池田) Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp
- 主催／NGO列島縦断フォーラム近畿ブロック実行委員会、NGO



♪♪♪ 第④回ふれあいコンサート ♪♪♪

- とき/2月14日(土) 開場PM1:30 開演PM2:00
- ところ/川越町あいあいホール
- 参加費/2000円(全席自由)
- 内容/NHK交響楽団第1コンサートマスターである篠崎史紀さんのヴァイオリンコンサートと、子どもたちによる演劇を行います。コンサートの演目は「愛の挨拶」「G線上のアリア」など。演劇では、不登校・イジメで苦しんだ子どもたちが素晴らしい熱演を披露します。なお、収益金の一部はインドの学校建設費として寄付されます。
- 主催・申込・問い合わせ先/子ども建設計画を考える会
Tel.&Fax.0593-31-0503 原 Tel.090-5009-4334
E-mail -hara@pop02.odn.ne.jp
ホームページ http://www.smileforever.gr.jp

第1回「川のワークショップみえ」

- とき/2月15日(日) AM9:30~PM5:00
- ところ/三重県庁講堂
- 内容/川のワークショップは、市民(団体)と行政がそれぞれに取り組んでいる川での活動や事業を募集し、公開で発表、評価し、「いい川」の具体像を見つけたらとする試みです。記念すべき第1回に、ぜひご参加ください。
- 申込・問い合わせ先/「川のワークショップみえ」実行委員会・事務局(担当:久世) Tel.090-5637-0727
E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

中間支援センターネットワーク交流会

- とき/2月21日(土) PM1:30~PM2:30
- ところ/アスト津3階(津市羽所町700)
- 内容/ボランティア・市民活動の広がりとともに、中間支援組織も増えてきました。公設公営、公設民営、民設民営…形はいろいろでも、中間支援に関わる者がネットワークを広げていくことは情報やコーディネートの幅の広がりへ、関係者にとっては可能性の広がりにつながる…と信じて、顔の見える関係を深めようと企画しました。
- 申込・問い合わせ先/518-0866 上野市小玉町3045-1 W.T.Aまちづくりセンター(担当:中盛) Tel.0595-24-7612 Fax.0595-22-0072

三重県の監査について考えてみよう

- とき/2月21日(土) PM2:30~PM4:30
- ところ/アスト津3階 イベント情報コーナー(津市羽所町700)
- 内容/三重県の行政監査は評価方式を取り入れ平成14年度から全国に先駆けた取り組みを行っています。今回は行政監査とはどのようなものか、平成15年度の行政監査(評価)結果を具体的に報告する機会として、行政監査市民フォーラム「三重県の監査について考えてみよう」を開催いたします。県民のみなさんが納めていただいた税金によって運営されている行政サービスの水準がどうなのか、知っていただくと同時に、疑問点やご意見など自由に発言をいただける場をめざしています。
- 応募締切/2月17日(火)(資料の準備がありますので、できるだけ事前申込を) ●参加費/無料
- 申込方法/氏名、所属、連絡先を明記し、FaxまたはE-mailにて。
- 申込・問い合わせ先/津市広明町13 三重県監査委員事務局(担当:伊藤(久)・山岡・小西) Tel.059-224-2924 Fax.059-224-2220 E-mail kansai@pref.mie.jp
- 企画協力/NPO法人 コミュニティ・シンクタンク「評価みえ」
- 協力/中間支援センターネットワーク

さかなの目公開講座・伊勢湾学セミナー共催 ~自然再生・私たちが今、行うべきことは?~

- とき/2月21日(土) PM12:30~PM4:30
- ところ/三重県総合文化センター大研修室(津市一身田上津部田1234)
- 参加費/無料
- 内容/地球上には種々様々な生き物が生息し、それらが互いに働きかけあって独特のつながりを形作っています。多様性が失われた後でそ



れを復元しようとしても簡単には行きません。今、切れかかっている物質循環の環、生態系のつながりと多様性が回復に向かうよう、きめ細かい事業展開や活動を心がける必要があります。平成15年1月1日、「自然再生推進法」が施行されました。源流の森から海まで、残された自然環境を保全し、失われた自然環境を復元・再生させるため、私たちは今、何を行うべきなのでしょう?

- この講座は、参加者とともに、その地域に生き、地域を愛し、先を見とおす市民の視点に立つ活動の枠組みについて、話し合う場です。当日は産業技術総合研究所の産学官連携コーディネータ、上嶋英機さんによる講演「失われた環境は取り戻せるのか」も行います。
- 募集人数/150人(先着順)
- 申込方法/名前、連絡先(所属団体名、住所及び電話、Fax)を明記し、Fax、E-mail、ハガキにて。
- 主催・申込・問い合わせ先/514-8570 津市広明町13番地 農林水産商工部水産物供給チーム「公開講座」係 Tel.059-224-2584 Fax.059-224-2608
E-mail sukyokyu@pref.mie.jp
総合企画局政策推進チーム戦略推進グループ
Tel.059-224-2025 Fax.059-224-2075
E-mail seisaku@pref.mie.jp

~財政黒字を目指そう~ 財政強化セミナー(助成金と事業受託について)

- とき/【第1回】2月21日(土) PM1:30~PM4:30
【第2回】3月6日(土) PM1:30~PM5:00
- ところ/津市市民活動センター2階 会議室1(津センターパレス)
- 参加費/1団体につき2000円
- 内容/市民活動団体やボランティア団体のみなさんが、助成金の申請や事業を受託する際の書類作成に役立つセミナーを開催します。第1回目は日本財団の菅井明則さんをお招きし、助成金申請を審査する側からの事業内容や書類作成の際気をつけるべき事などについてお話をさせていただくと共に、受講者に予め試作してもらった申請書類を添削していただきます。第2回は添削されたプレゼンテーションを各団体が発表するとともに、三重県生活部NPOチームマネージャー、出丸朝代さんには事業に取り組む事の必要性と、あるべき姿勢について、(有)デザインオフィス萩野さんには助成金情報の探し方についてお話をさせていただきます。
- 募集人数/10団体(1団体最大5人まで・申込順)
- 応募締切/1月31日(土)
- 申込・問い合わせ先/津市大門7-15津センターパレス3階 津市市民活動センター事務局 Tel.059-213-7200
E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp
ホームページ http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/
●主催/津市市民活動センター運営委員会

まちのファンクラブ2月交流会 「忍者ごっこを創ろう!~まちづくりは人づくり~」

- とき/2月25日(水) PM7:00~
- ところ/桑名市民会館 第3会議室
- 参加費/会員300円、一般500円
- 内容/『拙者 忍者でごござる。まちを駆けまわっていると、毎日発見の連続でごござる。このまちは、なかなか魅力的でごござるな』。くわな子どもネットは、子どもたちが生活体験、自然体験、社会体験さらに文化芸術体験を通してたくましく生きる力を身につけることができるように、事業を企画・実施している団体です。くわな子どもネットでは、地域のみなさんの温かさをご協力をいただき、「忍者ごっこ」を3年続けて開催してきました。交流会当日は、今までの忍者ごっこの紹介と、参加者のみなさんに架空のまちで忍者ごっこを考えていただきます。想像力を働かせながら、思いっきりワクワクしましょう。
- 主催・問い合わせ先/まちのファンクラブ
Tel.0594-27-2700(平日PM1:00~PM3:00)
ホームページ http://www.mie-kita.gr.jp
●主催/(特)くわな子どもネット

みえの食フォーラム~三重県栄養改善大会~

- とき/2月27日(金) AM10:00~PM4:30
- ところ/三重県総合文化センター 中ホール、リハーサルルーム
- 内容/県民一人ひとりが自らの食生活を健康的に営むためには、家庭だけでなく、県民の各ライフステージにおける食への取り組みが必要です。そのためには、うまし国三重の食文化と食を取り巻く課

題をともに考え、各々の立場でできる活動を展開し、県民の食環境を整えることが大切です。そこで、食に関係する人々と県民が一堂に会し、三重の食文化や食の安全・安心について学ぶとともに、地産地消の体験や地域における様々な活動を知る集まりを開催します。

- 募集人数/900人 ●応募締切/2月25日(水)※当日参加可
- 申込・問い合わせ先/健康福祉部健康づくりチーム
Tel.059-224-2334
- 主催/三重県、三重県教育委員会、社団法人三重県栄養士会、三重県食生活改善推進連絡協議会、地産地消ネットワークみえ

を数多く準備しています。その中でもボランティア活動は、博覧会の運営そのものに携わるといふ面から、非常に重要な役割を担うものです。活動内容はお客様のご案内、外国語による情報提供、迷子の対応、お年寄りや体の不自由な方のお手伝い、美化活動などを中心にボランティア自身が企画した活動を行います。個人でも、団体でも応募いただけます。詳しい募集条件や待遇などはお問い合わせください。



青春キネマ館 『銀座の恋の物語』

- とき/3月2日(火) AM11:00、PM1:30、PM8:00
- ところ/伊勢進富座(伊勢市曾祿2-8-27 Tel.0596-28-2875)
- 参加費/800円
- 内容/青春キネマ館は、懐かしい日本映画を映画館で観てもらおうという企画です。今回は『銀座の恋の物語』。石原裕次郎と浅丘ルリ子。銀幕のスターが競演する切ない恋物語をお楽しみください。
- 問い合わせ先/青春キネマ館&キッズシアター実行委員会
Tel.0596-28-4109またはTel.0596-23-0839(受付時間PM7:00~PM10:00)

- 募集期間/1月26日(月)~3月31日(水)(第1次募集)
- 活動場所/愛・地球博会場内および隣接するターミナル、鉄道駅
- 活動期間/博覧会開催中(平成17年3月25日~9月25日)
- 活動時間/AM8:30~PM10:30のうち、5~6時間程度
- 募集人数/15000人(先着順受付)
- 申込方法/専用申込書を郵送、Faxにて送付。またはホームページの募集フォームを利用。申込書は下記に申請するほか、(財)2005年日本国際博覧会協会、三重県内のサークルKなどで入手。
- 申込・問い合わせ先/460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-7 愛知県産業貿易館西館2階 愛・地球博ボランティアセンター
Tel.052-218-5087 Fax.052-218-5088
ホームページ <http://www.vol-expo2005.jp>

名張市市民活動率先協働事業

こどもと本とおとなをつなぐおはなしリレー ㊦ なばり講演会

絵本の扉を開く『絵本の楽しさ こどもから おとなまで』

- とき/3月13日(土) PM1:00~PM4:00
- ところ/名張市美旗市民センター2階ホール
- 内容/現在も文庫のおばさんであり、2男1女の母、6人のお孫さんのおばあちゃんであると共に日本で、ただ一人の絵本学博士(1994年英国立大で取得)正置友子さんを招いて、絵本の可能性と絵本学(楽)についてうかがいます。連絡会のグループが活動している場所、作品など展示もご覧ください。
- 募集人数/60人(先着順・定員に満たない場合は当日受付可) 託児10人(先着順・要事前申込)
- 申込・問い合わせ先/名張子どもの本の連絡会
Tel.0595-68-0226 Fax.0595-65-7588
E-mail ehon@nava21.ne.jp
ホームページ <http://www.nava21.ne.jp/~ehon>

イラク派兵反対の署名にご協力ください!!

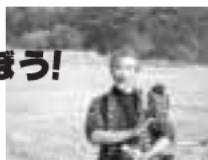
今のイラクは非戦闘地域と呼べるところは無く、自衛隊員が劣化ウラン弾による汚染、戦闘行為に巻き込まれる可能性があること。自衛隊遣が本当に意味のある国際貢献なのかということ。国内での充分な審議を経た結果であり、日本国民の総意なのかということ。どの点においても、イラク派兵は多くの問題を抱えています。今、各地方議会でも、イラク派兵反対の声が上がっています。みなさんも、日本が暮らしやすい平和な国であるように、一緒に意思表示しませんか。イラク派兵反対の署名を集め、3月の各市町村議会に提出したいと思えます。ご協力いただける方は、下記までご連絡を。署名用紙を送らせていただきます。

- 問い合わせ先/515-0042 松阪市虹が丘町28-3 柏井良子(環境と平和のNPO ひさい『地球村』) Tel.0598-28-5844
携帯Tel.090-7316-6366 Fax.0598-28-5849
E-mail wakuwaku@mctv.ne.jp

森本二太郎さんファン倶楽部

カメラで遊ぼう! 森本さんと遊ぼう!

- とき/3月19日(金) PM2:30~21日(日)(2泊3日)
- ところ/キャンプinn海山
- 参加費/25000円(宿泊費、食費、講習費、講師料、保険料含む)
- 内容/環境教育の古典となったレイチェル・カーソンの「センス・オブ・ワンダー」。その邦訳版に添えられた写真を撮影したのが、森本二太郎さん。彼はセンス・オブ・ワンダーな世界にファイダーを通して気づかせてくれる、素晴らしい自然案内人です。その森本さんが、三重県で写真を使った講習を行うのは今夏藍が初めて。一緒に春の熊野古道の自然を感じながら、森本さんと楽しい旅をしましょう。初日は森本さんと自由参加の懇親会があるほか、夜は、センス・オブ・ワンダーの原画となった写真のスライドショーがあります。なお、この講座は写真の技術的なことを教えるのではなく、ファイダーを通してセンス・オブ・ワンダーの世界にふれることを中心に行います。「どうしたらあのような写真がとれるのだろう」と、途方に暮れている方、お待ちしております。
- 応募締切/3月1日(月) ●募集人数/25人
- 申込・問い合わせ先/東紀州エコツーリズム研究会(事務局:森下) Tel.090-8731-8797(日中連絡は不可)
E-mail tour_de_kumano@yahoo.co.jp
※専属スタッフがいないため、問い合わせはなるべくE-mailで。



助成金 ニュース

長寿開発センター助成事業

- 受付締切/1月30日(金)必着
- 助成の対象となる活動/独創性、先駆性、普遍性のある事業であり、次のテーマに関連する事業。
 - 1.退職労働者の地域活動を促進する事業。
 - 2.高齢者の社会貢献を促進する事業。
 - 3.高齢者の生きがいと健康づくりを支援する人材を養成する事業。
 - 4.高齢者の生きがいと健康づくり活動などのネットワーク化に関する事業。
 - 5.高齢者と子ども世代との交流を推進または支援する事業。
 - 6.1~5に該当しないが、その他高齢者の生きがいと健康づくりを推進する事業。
- 助成の額/原則として上限250万円。
- 応募方法/ホームページから、様式をダウンロード。
- 問い合わせ先/長寿社会開発センター企画振興部(担当:岡本)
105-8446 東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル8階
Tel.03-5470-6753 Fax.03-5470-6762
ホームページ <http://www.nenrin.or.jp/>

ネットワークのよびかけ

みんなで支えよう愛・地球博!ボランティア募集中!!

21世紀最初の国際博覧会となる愛・地球博では、21世紀を“市民の時代”と位置づけ、市民が自主的・主体的に参加できるプログラム

(財)河川環境管理財団河川整備基金助成

- 受付締切/2月16日(月)消印有効
- 【国民的啓発運動】『1一般助成』
- 助成の対象となる団体/地方公共団体、法人、任意団体、小中高等学校
- 助成の対象となる活動/
 - (1)河川・ダムなどに係る副読本などの作成
 - (2)河川愛護・環境教育活動
 - (3)河川文化講演会などの開催
 - (4)水利用の合理化・高度化・水と産業との係わりなどに関する普及啓発活動
 - (5)メディア広報
 - (6)河川に係わる国際交流活動
 - (7)流域交流
 - (8)その他
- 助成の額/全国規模で行うものは1件につき助成期間1年で1000万円

以内。地域的な規模で行うものは1件につき助成期間1年で500万円以内。ただし、小中高等学校において実施する「総合的な学習の時間」における活動については1件10万円以内。

※「河川・ダムなどに係わる副読本などの作成」及び「総合的な学習の時間における河川を題材とした活動」は助成の金額以内で2年間にわたることも可能。『2継続的助成』

- 助成の対象となる団体／法人、任意団体。
- 助成の対象となる活動／1の一般的助成の対象となる諸活動を継続的に
行う非営利団体の活動運営費。再度の申請は認めません。
- 助成の額／1件につき最長5年で各年50万円以内。
- 応募方法／申請用紙はホームページからダウンロードするか、390円切手を貼付(1部の場合)した返信用封筒(A4版が入るもの)を同封のうえ、請求。
- 問い合わせ先／(財)河川環境管理財団名古屋事務所(担当:奥田一巳)
450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-10 東海ビル
Tel.052-565-1976 Fax.052-571-8627
E-mail info-n@nagoya.kasen.or.jp
- ※今回、誌面では「3、国民的啓発運動」を掲載します。「1、調査・試験・研究」、「2、環境整備対策」については直接お問い合わせください。

平成15年度第1期 セブン-イレブンみどりの基金 環境市民ボランティア活動助成制度

- 助成の対象となる活動(3部門とも共通)／1、活動目的が下記のいずれかに当てはまる活動。(複数可)
- (1)自然環境保全 (2)地域環境美化 (3)体験型環境学習
- (4)生態系保護(環境省が定める「レッドリスト・レッドデータブック」で絶滅危惧に分類されている動植物の保護に関わる生態系保護活動に限る)
- (5)環境をテーマにしたまちづくり・地域づくり
- 2、活動の種類が下記のいずれかに当てはまる。(複数可)
- (1)実践活動 (2)調査・研究活動 (3)普及啓発活動
- (4)環境市民ボランティア間のネットワーク活動

【活動助成(第1期)】

- 受付締切／2月29日(日)必着
- ※対象期間が平成16年9月1日～平成17年2月28日の半年間に実施される活動については、6月末日締切の第2期公募があります。
- 助成の対象となる団体／日本国内において「環境」を主テーマとして活動している下記のいずれかに当てはまる団体
- (1)「環境の保全を図る活動」を活動目的として認証されているNPO法人
- (2)環境市民ボランティア団体
- 対象事業の期間／平成16年3月1日～平成17年2月28日
- 助成の額／1件あたり上限100万円
- 【育成助成】
- 受付締切／2月29日(日)必着
- 助成の対象となる団体／平成17年2月28日までに、「環境の保全を図る

活動」を主たる活動分野として、NPO法人格取得申請を行う環境市民ボランティア団体。

- 対象事業の期間／平成16年3月1日から最長3年間。
- 助成の額／1団体あたり上限1年間50万円
- 【事業助成】
- 受付締切／3月31日(水)必着
- 助成の対象となる団体／「環境の保全を図る活動」を主たる活動分野として認証されているNPO法人
- 対象事業の期間／平成16年3月1日から2または3年間
- 助成の額／1件あたり上限1年間200万円
- 応募方法／申請書はホームページからダウンロードするか、下記まで問い合わせください。
- 問い合わせ先／セブン-イレブンみどりの基金環境市民ボランティア活動助成事務局 105-0013 東京都港区浜松町1-27-9新浜松町ビル6階
Tel.03-5733-2526 Fax.03-3435-1065
E-mail oubo@7midori.org
ホームページ http://www.7midori.org

みずほ教育福祉財団 「老後を豊かにするボランティア活動資金」

- 受付締切／5月31日(月)必着
- 助成の対象となる団体／地域社会で高齢者のための活動をすすめている幅広いボランティアグループ(住民参加型在宅福祉サービス団体などを含む)で、会員構成は10～50人程度、結成以来の活動実績2年以上のもの。なお、老人クラブ、NPO法人など法人格を有する団体は対象外。
- 助成の対象となる活動／高齢者自身による、高齢者のためのボランティア活動を歓迎。継続したボランティア活動が可能となる事業を優先。
- 1.高齢者の日常生活を援助する福祉、保健などに関わるボランティア活動。
- 2.高齢者の生活環境を良くするボランティア活動。
- 3.高齢者の趣味、レクリエーションなどを豊かにするボランティア活動。
- 4.高齢者と他世代との交流を図るボランティア活動。
- 助成の額／1グループ上限10万円。総数130グループ程度。用途は活動に直接使用する用具・機器類の購入に限定。
- 応募方法／県社会福祉協議会ある所定の申請書に、県または市町村社会福祉協議会の推薦を得て、下記まで送付。
- 問い合わせ先／みずほ教育福祉財団福祉事業部(担当:小野)
100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-5 みずほ銀行本店内
Tel.03-3596-4532 Fax.03-3596-4531

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ http://www.jfc.or.jp/



桑名地区

まちのファンクラブ
510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階
Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733
E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ http://www.mie-kita.gr.jp/

三重県NPOチームのホームページ(<http://www1.mienpo.net/npot/>)で、桑名・員井地域のNPO法人一覧を見ました。この地域には、申請中も含めて20団体ほどありました。そのなかで圧倒的に多いのは「高齢者・障害者」を対象とした「福祉」の分野で半数の10団体。次に「環境」が3団体、「子供・子育て」と「芸術・スポーツ」がそれぞれ2団体ずつ。「国際」「IT」「市民活動支援」が各1団体です。私の実感としては、市民活動をしている団体の数は、この地域だけでも200は下回らないと思っていますし、NPO法人だけで市民活動を包括するのはとても無理だなと思いました。

NPO法でしたが、その成立の過程でいろいろ議論したことを思い出しました。結局「形式的な要件を満たした団体を一旦法人として認め、情報公開を義務づけることで市民がその実態で判断する」という考え方に落ち着きました。「市民活動団体調査」でも、団体の形式や成り立ちは同じでも、活動や運営の仕方、個々に判断することになるのかなとも思います。それは、それぞれの人たちにとって「市民の自由な社会貢献活動」とは何かを問うことなのかもしれませんね。

そんなことを考えながら、もう一度、三重県NPOチームのホームページを見ていたら、施策一覧のなかに平成16年度の予算請求が載っていました。あいかわらずアクティブで、「パートナーシップによる協働の推進」として、「NPOやボランティア団体等との協働の推進及び事業評価実施の浸透」として「注力:↑」のマークといっしょに掲載してありました。例の「NPOからの協働提案」をやる気まんまんといったところかと。三重県のホームページには平成16年度の三重県予算も掲載されていました。(http://www.pref.mie.jp/YOSAN/oshirase/sainyu.htm) 県民局単位の地域予算も計上してあり、この地域の予算をじっくり見て、ちょっと来年度の活動などを考えてみようかと思いました。

今年度、みえきた市民活動センターでは、桑名市にプレゼンテーションして補助を受け、「市民活動団体調査」を行っています。そのなかで、「市民活動団体って?」という議論がありました。「はたして特定非営利活動法人は、市民活動団体か?」ということも。なるほど、「市民の自由な社会貢献活動」を推進する目的で作られた

■メイキング・オブ・伊勢市民活動センター

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

市民と行政と一緒に考えた市民活動センター
 検討委員会を終え、ただいま本格オープンに向けて準備中！

進行状況 その1 2階部分の改装工事が始まる！

★2階部分はこんな風に使いたい！…意見を設計に反映
 伊勢市と市民有志による検討委員会では、伊勢市市民活動センターの2階を、市民活動団体の事務所として利用できるブース(パーティションによる区画割り)と30名程度の会議のできるフリースペースとしての活用が望ましいということと合意され、その改装にあたっては、利用対象になるとと思われる市民団体にアンケートをとり、その結果が設計に反映されました。

■小さな貸事務所スペースができます！ 6ブース(区画)の貸出を予定
 1ブースあたりの備品/事務机(L字型)1台・事務イス1脚・電話回線・インターネット回線 ※利用は有償(受益団体負担) ※利用者の自主管理

進行状況 その2 伊勢市市民交流課に聞いてみました 検討会終了後の進みぐあいは？

市民交流課「市民との検討会議で協議したことを基に作成された『いせ市民活動センターの設置及び管理に関する条例案』は、その後の政策調整会議で考え方及び条例案内容について、基本的に了承されました。2階の改修は12月議会で補正予算が通り、予定通り今年度、改修工事に入ることになりました。しかし、市側の実務的な検討課題が新たに発生し、現在は、事務局(市民交流課)において調整中です。

それにともない、条例案の提出時期も予定より遅くなってしまうため、民間委託の指定管理者の公募など、本格オープンに向けてのスケジュールが当初より延期されることとなります。

伊勢市民活動センター(仮称) 準備事務局

現在も団体登録すれば、会議などに利用できます。
 開館時間内の施設への出入りはフリー。
 市民活動の情報展示がされているので、情報の発信、収集などに利用を。

稼働中!

【伊勢市市民活動拠点施設設置準備事務局】

住所 伊勢市岩瀬1丁目2-29 (外宮前)
 伊勢シティープラザ南館
 電話 0596-20-4385
 開館日 月曜～金曜(祝日、年末年始は除く)
 時間 午前9時～午後5時

※お問合せは…伊勢市 市民交流課
 TEL.0596-21-5549まで

じゃあ、4月には本格オープンが間に合わないんですね！

市民交流課「そうなんです。ごめんなさい。一度決めてしまったら変更が難しいので、慎重に進めています。」

公共施設の事務手続きというのは難しいもんなんですね～。改めて実感しました。
 そんなわけで、みなさま、期待に胸をふくらませて？もう少しお待ちください。

(…つづく)

W.T.Aまちづくりセンター情報

〒518-0866 上野市小玉町3045-1
 Tel: 0595-24-7612 090-3302-0627
 Fax: 0595-22-0072 代表 中島 正
 〒91X-107P.L.S. magi4743@ezwch.ne.jp

最近のうごち 状況

朝からにぎやかです！

あ、早くー 今朝18時おきた。いよいよ5月27日 定例会ター

ホントに楽しみです。

W.T.A市民活動 相談会 22日交流会

当センターと地域の市民活動センター、伊勢志摩NPO連盟が協賛しています。

今日は 2月18日のPM10:00～です。今回はPM10:00の開催が予定されています。参加希望の方は、お電話下さい。場所の直前までお電話下さい。

何の用もない、今日は5時30分に11時30分までです。この日は、一緒に語りあそびから何かを学べると思います。

2月23日、朝の早いお天気に、お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。

中島正理事ネットワーク交流会と、三重県監査委員会の面談が、先月もおこなわれました。4回目となる中島正理事ネットワーク交流会は、お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。

中島正理事ネットワーク交流会(当日の開催場所は、PM11:30～2:30 監査委員会の面談が、先月もおこなわれました。4回目となる中島正理事ネットワーク交流会は、お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。

情報誌、一緒に読んでみるのもいいですね！

お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。

お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。お天気に合わせて、早くに始まる交流会。

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうにつながっているのでしょうか。自然観察指導員として県内を駆け巡っている木原寿代さんが紹介してくれた松井さんの活動拠点は尾鷲市天満浦。地元にはしっかりと根ざし、子どもから、高齢者まで巻き込んだまちづくりを行っています。

活動の原点は天満会館

……松井さんが活動を始めたきっかけは？



天満会館。

きっかけは天満会館の建設でしょうね。私が住む天満地区は尾鷲市と海山町の境にあり、尾鷲市の中心部から少し離れていますし、世帯数も180世帯と大ききはありません。そんな地区の集会所としてつくられた天満会館は30年前、昭和48年頃に建てられました。建設予算の中心は市費ですが、住民の意気込みの寄付も大きなウエイトを占めたと思います。当時、中部尾鷲火力発電所の方から、発電のために煙突から出る煤で周辺住民に迷惑をかけるからと、住民1人に対して8000円の煤に対する補助金というのが出まして、私たち天満地区の住民全員がそのお金を出し合いました。それから、ここを拠点にしていろいろな活動を始めました。ですから、ここが私の活動の原点です。

……地域の住民も資金を出したのですか。
今も当時、寄付された方の名前は木札に書いて、会館のホール部分に貼ってあります。管理運営も地元住民で作られた天満会館運営委員会がすべて行っています。備品の机、イスから冷蔵庫、お箸から、お茶まで住民の気持ちで賄われていますよ。

……貸し出し願いは市役所に届けるのですか？
それも自主管理。だから朝早くから、夜遅くまで使えますし、地域の方が利用する分には無料です。掃除も月1回、天満地区をいくつかのブロックにわけて、そこの自治会員が行っています。これは30年前から変わっていません。

……最初に会館を作ろうと呼びかけたのは誰ですか？
当時の自治会ですね。天満会館建設委員会がありました。

……ここを拠点とした最初の活動は何でしたか？
私は地域の女性30人ほどに呼びかけて、消費者グループをつくりました。当時、私も30歳ぐらいでしたから、同年輩の方を中心に声をかけました。

……そのグループから活動が広がっていったのですか？
消費者グループは10年ほど活動しました。その後、1年かけて青

少年育成天満町民会議を立ち上げ、昭和59年9月から活動を始めました。今も25、6人で活動しています。

……青少年育成天満町民会議の活動は？
できた当時は地域の子ども会と一緒に、盆踊りや講演会、運動会などをしていました。今は盆踊りと秋のハイキング、元旦に行う初日の出を見る会くらいです。あと、資金づくりとしてゴキブリ団子を作っています。昔は子ども会の人数も、小学生から高校生まで90人と多くて、しっかりしていたのでいろいろな行事が一緒にできたのです。私の子どももまだ高校生でしたし。今は子どもが少なくなり、天満地区には8人ほどしかいません。それで、隣の北浦地区と合同でみつば子ども会という名で活動しています。

……子ども会の活動との差はありますか？
私の考え方としては、子ども会は子どもに直接関わる活動であって、私たちの活動はその後方支援だと思っています。まあ、土をつくるというか、地域を耕す活動ですね。この会も今年で20周年になりました。

……この他にも活動をされていますか？
民生委員を14年続けている経験から、「何か高齢者のための活動をしたい」と思い、地区の人に呼びかけてあゆみ会というのをつくりました。また、生活改善会という活動も行っています。

……まず、あゆみ会について教えてください。
メンバーは12人ですが、地域の高齢者の方と一緒に2カ月に1回、いろいろな活動をしています。今年は温泉旅行や花見、音楽会。12月にはクリスマス会も行いました。

……高齢者の方にも喜ばれるでしょう？
私たちも楽しませてもらっていますし、非常に信頼されているのを感じます。他の地区の方から、天満地区の高齢者の方が、「あゆみ会の行事は楽しいし、ここで暮らせて良かった」と話していたと聞いたことがあります。尾鷲市にはこんなグループが17団体もあるのですよ。

……生活改善会とはどんな活動をするのですか？
天満地区ではお葬式があると女性がお手伝いに行くのですが、この時に喪主さんからいただくものが多いのです。お膳、お寿司、お砂糖、商品券…。商品券一つにしても一人頭3000円分くらいくれるのですが、お手伝いに来る女性は普通の家でも30人ほど。これだけで10万円が必要ということになります。この費用はムダじゃないかと考え、最低限のものにしようと呼びかけています。お葬式のお手伝いは住民の助け合いですからね。

……従来のやり方を変えようとする、反対の声が挙がるのでは？
天満地区で女性がいる世帯すべてを対象にアンケートを配りました。そのうち125世帯から回答があり、私たちの意見に反対されたのは6名だけでした。生活が変わって、今までのやり方が合わなくなってきたこと、不景気だということが理由でしょうね。喪主さんもういぶん楽になると思います。

……この会をつくるきっかけは？
発案した方の夫が重い病気を患っていたのです。その方は自分の夫の病名を長い間、本人や周囲に伏せていたので、そのことも後になって知りました。彼女は夫の闘病生活の間に「夫がガンで亡くなった時には、葬儀にお金をかけるより、その分を天満会館やそこ



天満浦百人会
松井まつみ さんに

聞く

で活動しているグループに寄付したい」と思っていたそうです。
……アンケート配布から、実行に移すまでの期間は？

3カ月ほどですから、早かったですよ。メンバーは地区内で不幸があった時に、責任を持ってお願いに行ける方ということで募りました。言いにくいことだからこそ、責任を持てる方じゃないと…。

各グループをまとめて誕生「天満浦百人会」

……活動団体がいくつもありますが、すべて天満会館を拠点にしているのですか？

先に挙げた3つの団体の他にもいくつかあり、それらをまとめて天満裏百人会をつくっています。これは熊野古道を訪れた方などをもてなすためのグループなのですが、それとは別に所属メンバーとして目標としていることがあります。

5年、10年先に 結果が出ればいいなと、 のんびりやっています。

……それは何？

天満会館の厨房を給食サービスなどにも使える大きな物に改造しようと思っています。保健所の許可ももらえる立派な厨房ができれば、ここを地域の人が働く場にもできるでしょう？大げさですが、ここをみんなが楽しみのために働きたいような所にしたいなと。

……費用は地区の人で出すのですか？

尾鷲市にもお願いしますが、自分たちでも集めようと思っています。先日も熊野古道のイベントで竹羊羹やマーメイドなどを売りに行きましたよ。竹羊羹はテングサと黒砂糖でつくったお菓子でこの辺りの伝統的なおやつです。マーメイドの材料も尾鷲の特産品である甘夏みかんを使っています。食べ物以外では尾鷲ヒノキと、小さな焼き物のお地藏さんを組み合わせた小物や竹細工なども販売しています。これらはイベントに出店するほか、馬越峠の下にある馬越屋というお店でも売っています。

……商品は誰が作るのですか？

みんなシロウトの手づくりです。ただ尾鷲ヒノキの部分だけは木工屋さんをお願いしています。この方は私の民生委員仲間。最初は木の部分もメンバーでつくっていたのですが、その方に見せたら「これはひどい」として(笑)。小物を袋詰めするのは老人会の役目だし、お地藏さんづくりはメンバーの中に陶芸の先生がいたので教えてもらいました。地区には特技を持った人がたくさんいます。これらの人を生かすのも天満ならでの活動です。

……これらのアイデアは松井さんが考えたのですか？

メンバー全員で考えます。集まってわいわい話していると、いろいろなアイデアが出てきます。私はそのアイデアをまとめて、形にしていだけます。集まって作業したり、おしゃべりすることでメンバーの



熊野古道のイベントで、竹ようかんや木工細工を販売しました。

繋がりも深くなりますし、何より楽しい。どんな活動も自分が楽しむことが大事ですよ。アイデア出しだけでなく、新しい活動を始める時も地区のお祭りやイベントで人が集まった時に、「私、こんなことを始めたい」と話しておく。みんなに話すうちに私だけじゃなくて、みんながその気になってきます(笑)。

……活動が多いことで、地区の方が不満を言うことは？

活動は自由参加ですから、不満のある方は出て来ないと思いますよ。それに、天満浦百人会には天満地区以外のメンバーもいて、イベントや作業を手伝ってくれています。中には海山町から来てくれる方もいますよ(笑)。たくさんの方が参加してくれるのは嬉しいですね。

市民活動と名付けられる前から…

……率先して活動することで、イヤな思いをされることは？

活発に動く人からイヤなことを言われるのが苦痛という方もいますけど、私はあまり気になりません。なかには私たちの活動に反対する方もいるでしょうが、私は100人中51人、賛成が過半数を超えるならやろうって思います。友だちのなかには「せめて100人中70人くらいにすれば？」と言う人もいますけどね(笑)。それに私たちの活動は結果がすぐに出るものではありませんから、5年、10年先に結果が出ればいいなと、のんびりやっています。

……その頃には自分たちの活動がみんなに受け入れられているだろうという確信もあるのでしょうか？

そうですね(笑)。それに天満地区の人は基本的に人がいい。地域をつくっていくことに対して、非常に情熱があります。

……「自分の時間が欲しい」と思ったことはありませんか？

皆さんのお世話をさせていただくことが私の喜びです。だから、みんなの時間が、私の時間(笑)。できる時に、できる人が、できることをする。これが私のモットーです。

天満浦百人会

住所/519-3602 尾鷲市天満浦200-17

Tel.&Fax.0597-22-4387

松井まつみさんはこの人を紹介します。

真弓多喜代さん

徳居ときめき会というグループで地産地消の推進に取り組むほか、みえ食文化研究会の中心的メンバーとしても活躍。また、地元の学校と連携を取りながら、地域づくりにも力を注いでいます。

お ね が い

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送ってください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPOチームに連絡してください。



平成16年元旦に行われた、初日の出を見る会。